

平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月7日
上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ノリタケカンパニーリミテド
 コード番号 5331 URL <http://www.noritake.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 忠
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 中村 吉雅 TEL 052-561-7116
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	79,583	△1.4	1,800	△22.0	3,140	△7.0	1,982	△41.4
28年3月期第3四半期	80,720	13.4	2,309	71.4	3,376	46.6	3,382	162.2

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 3,751百万円 (△0.9%) 28年3月期第3四半期 3,786百万円 (△31.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	138.08	—
28年3月期第3四半期	235.55	—

※平成28年10月1日付で普通株式10株を1株に株式併合しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	140,751	82,586	56.6	5,549.62
28年3月期	135,931	79,765	56.5	5,345.27

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 79,669百万円 28年3月期 76,749百万円

※平成28年10月1日付で普通株式10株を1株に株式併合しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
29年3月期	—	3.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	30.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※平成28年10月1日付で普通株式10株を1株に株式併合しております。平成29年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は、「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は3円となり、1株当たり年間配当金は6円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	108,000	△1.5	2,100	△39.1	3,600	△24.7	2,200	△50.1	153.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※平成29年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	15,842,849株	28年3月期	15,842,849株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	1,486,954株	28年3月期	1,484,397株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	14,357,635株	28年3月期3Q	14,359,797株

※平成28年10月1日付で普通株式10株を1株に株式併合しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化によっては実際の業績と異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他関連する事項につきましては、【添付資料】2ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

2. 当社は、平成28年6月29日開催の第135回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりです。

(1) 平成29年3月期の配当

- 1株当たり配当金
- 第2四半期末 3円
- 期末（予想） 3円

(2) 平成29年3月期の連結業績予想

- 1株当たり当期純利益
- 通期 15円32銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は795億83百万円（前年同期比1.4%減少）、営業利益は18億0百万円（前年同期比22.0%減少）、経常利益は31億40百万円（前年同期比7.0%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億82百万円（前年同期比41.4%減少）となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

(工業機材)

国内市場は、当期に入り、主要顧客の自動車、鉄鋼、ベアリング、電子半導体関連で、市況に回復の兆しが見えるものの、売上げにつなげることはできず、前年並みとなりました。海外市場は、米国、東南アジアで市況が堅調だったほか、中国においても鉄鋼や自動車関連が受注を牽引しましたが、売上げは円高の影響を受け減少しました。日本レヂボン、インド、東南アジアへの販売が好調に推移したものの、為替の影響等により、売上げは前年並みとなりました。その結果、工業機材事業の売上高は、424億56百万円（前年同期比1.5%減少）、営業利益は5億60百万円（前年同期比56.2%減少）となりました。

(セラミック・マテリアル)

電子ペースト事業は、MLCC用電子ペーストが伸び悩み、売上げは減少しました。セラミックス事業は、石膏の海外向けや、担体の米国向け販売が好調でしたが、蛍光表示管は国内・海外ともに不調に終わり、事業全体では円高の影響を受け、売上げは減少しました。共立マテリアルは、輸出が堅調であった電子部材は増加したものの、セラミック原料が落ち込み、売上げは減少しました。その結果、セラミック・マテリアル事業の売上高は、206億73百万円（前年同期比5.1%減少）、営業利益は13億52百万円（前年同期比9.2%増加）となりました。

(エンジニアリング)

主力の乾燥炉及び焼成炉は、従来からの電子部品やリチウムイオン電池向けに加え、自動車部品向けの需要を取り込むことができ、売上げは増加しました。混合攪拌装置は、化学、食品向けが堅調に推移しましたが、濾過装置は、ベアリング向けの低迷により、売上げは減少しました。超硬丸鋸切断機は、国内向けは低調でしたが、海外向けは堅調に推移し、売上げは横ばいとなりました。その結果、エンジニアリング事業の売上高は、96億51百万円（前年同期比15.7%増加）、営業利益は4億45百万円（前年同期比696.4%増加）となりました。

(食器)

国内市場は、百貨店向けが減少したものの、ホテル・レストラン向け及び法人向けの販売が堅調に推移したことから、売上げは横ばいとなりました。海外市場は、一部、アジアのエアライン向けが好調であったものの、米国市場の主要顧客向けをはじめ海外市場全体が振わず、円高の影響も受けたことから、売上げは減少しました。その結果、食器事業の売上高は、68億0百万円（前年同期比8.9%減少）、5億57百万円の営業損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が減少したものの、保有株式の株価上昇に伴い投資有価証券の時価総額が増加したことから、前連結会計年度末に比べ48億19百万円増加し、1,407億51百万円となりました。

負債は、短期借入金が増加したものの、電子記録債務が増加したことに加え、その他有価証券評価差額金の増加により固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が増加したことから、前連結会計年度末に比べ19億98百万円増加し、581億64百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が減少したものの、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加により、前連結会計年度末に比べ28億20百万円増加し、825億86百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は平成28年11月8日発表の見直しを変更しておりません。業績予想に修正が必要となった場合には速やかに開示する予定です。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,720	11,164
受取手形及び売掛金	28,556	27,368
電子記録債権	2,262	2,930
商品及び製品	8,427	7,883
仕掛品	3,778	5,280
原材料及び貯蔵品	4,387	4,245
その他	2,298	2,485
貸倒引当金	△30	△22
流動資産合計	60,402	61,334
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,656	16,974
その他(純額)	26,289	25,125
有形固定資産合計	43,946	42,099
無形固定資産		
投資その他の資産	1,200	1,042
投資その他の資産		
投資有価証券	29,184	35,157
退職給付に係る資産	122	181
その他	1,207	1,059
貸倒引当金	△132	△124
投資その他の資産合計	30,382	36,274
固定資産合計	75,529	79,416
資産合計	135,931	140,751
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,307	9,755
電子記録債務	4,239	7,125
短期借入金	12,730	10,507
1年内返済予定の長期借入金	2,011	1,959
未払法人税等	700	377
引当金	1,463	456
設備関係支払手形	236	137
営業外電子記録債務	229	537
その他	3,735	4,649
流動負債合計	34,655	35,507
固定負債		
長期借入金	13,474	13,110
引当金	276	232
退職給付に係る負債	2,064	2,006
その他	5,696	7,308
固定負債合計	21,511	22,657
負債合計	56,166	58,164

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,632	15,632
資本剰余金	18,783	18,783
利益剰余金	39,286	40,292
自己株式	△3,991	△3,890
株主資本合計	69,711	70,818
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,106	13,982
為替換算調整勘定	△1,660	△4,370
退職給付に係る調整累計額	△1,407	△760
その他の包括利益累計額合計	7,038	8,851
非支配株主持分	3,015	2,916
純資産合計	79,765	82,586
負債純資産合計	135,931	140,751

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	80,720	79,583
売上原価	59,043	58,326
売上総利益	21,677	21,256
販売費及び一般管理費		
販売費	13,221	13,178
一般管理費	6,145	6,276
販売費及び一般管理費合計	19,367	19,455
営業利益	2,309	1,800
営業外収益		
受取利息	45	65
受取配当金	549	584
受取賃貸料	241	316
為替差益	87	0
持分法による投資利益	298	480
その他	134	122
営業外収益合計	1,355	1,570
営業外費用		
支払利息	122	58
固定資産賃貸費用	121	129
その他	44	43
営業外費用合計	288	230
経常利益	3,376	3,140
特別利益		
固定資産売却益	1,469	16
投資有価証券売却益	22	18
特別利益合計	1,492	35
特別損失		
固定資産処分損	169	240
減損損失	320	—
関係会社整理損	—	67
その他	0	15
特別損失合計	490	322
税金等調整前四半期純利益	4,378	2,852
法人税、住民税及び事業税	937	705
法人税等調整額	△163	△53
法人税等合計	774	652
四半期純利益	3,603	2,200
非支配株主に帰属する四半期純利益	221	218
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,382	1,982

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	3,603	2,200
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,126	3,887
為替換算調整勘定	△1,020	△2,954
退職給付に係る調整額	106	653
持分法適用会社に対する持分相当額	△29	△35
その他の包括利益合計	183	1,550
四半期包括利益	3,786	3,751
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,728	3,795
非支配株主に係る四半期包括利益	57	△44

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	43,122	21,788	8,343	7,466	80,720
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	1,278	1,237	55	△261	2,309

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「工業機材」セグメントにおいて、遊休状態にあり今後も使用の目処が立たない固定資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として320百万円を計上いたしました。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	42,456	20,673	9,651	6,800	79,583
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	560	1,352	445	△557	1,800

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。